

# TASCぎふ、報告書

TASC-GIFU REPORT 2022



TASCぎふ（岐阜県障がい者芸術文化支援センター）

令和4年度 報告書

- 002 **TASC ぎふについて**  
想い／令和4年度のテーマ
- 003 **相談／オープンアトリエ**
- 004 **ワークショップ**  
写真ワークショップ  
身体アート表現ワークショップ  
ドラムサークル トントコノりのリズムパーカッション♪  
鳴らして遊ぼう！ 竹竹バンブー楽器ワークショップ
- 005 **人材育成・研修**  
基礎研修①／表現研修①／表現研修②／基礎研修②  
鑑賞支援コーディネーター育成講座  
舞台手話通訳者養成講座  
権利研修／基礎研修③／鑑賞アクセシビリティ研修
- 009 **人材育成・発表**  
tomoni アートサポータープレゼンツ企画展 vol.3  
もぐもぐキッチン～大好きな食べ物～
- 011 **発表**  
チャレンジ企画 [クリパラボ／ふれ愛の家]  
tomoni ワークショップ NEST プラインド・クリエイション  
いろんなみんなの展覧会 根を、おろす。  
特別支援学校総合文化祭  
TASCぎふコラボ展 vol.8 夢かなう～始まりの1ページ～  
私のいってん！
- 021 **連携・アウトリーチ**  
飛騨 高山市「黙々広場」  
東濃 瑞浪市「バリアフリー映画上映会」  
飛騨 飛騨市「HIDA まちなかアート」  
中濃 関市「渾沌の中の調和II」
- 025 **連携・つながり**  
OKB 大垣共立銀行／建築関連／  
tomoni カフェ／他企業  
大垣女子短期大学／岐阜大学  
岐阜県美術館／ぎふ木遊館  
可児市文化創造センター ala／アトラボぎふ  
オアシスパーク／岐阜希望が丘特別支援学校／  
発表協力
- 029 **協力委員会・アドバイザー**
- 030 **あとがき**

## ごあいさつ

私たち岐阜県教育文化財団は、平成30年7月に、国の障害者芸術文化活動普及支援事業を担うため、財団内に「岐阜県障がい者芸術文化支援センター（通称：TASC ぎふ）」を設立し、障がいのある人を支える人とともに、アートの力を活用して、社会とまじわる場をつくり、育て、障がいのある人の表現と社会参加の可能性を広げることを目的とした事業に取り組んでまいりました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、WEBやラジオ放送を活用した事業を併せて展開することで、滞りなく事業を進めることができました。全国障害者芸術・文化祭おきなわ大会のサテライト事業として開催した「いろんなみんなの展覧会」をはじめ、情報アクセシビリティを施したバリアフリー演劇や映画上映会の開催には特に力を入れて取り組みました。さらに、各圏域でアウトリーチ事業を展開するとともに、教育機関との連携事業の実施、地元企業等による作品二次利用の支援を通じて、県内各地で障がいのある人の芸術活動に関心を持っていただくことができました。これらの事業に多大なるご協力をいただきました関係者の皆さまには、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

岐阜県教育文化財団・TASC ぎふでは、令和6年度に岐阜県で開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024に向けて、性別、年齢や障がいの有無を超えた多様性のある文化活動にひとりでも多くご参加いただけますよう、これからも励んでまいりますので、今後ともご協力の程をお願い申し上げます。

公益財団法人 岐阜県教育文化財団  
理事長 高木敏彦



た す く  
TASC ぎふについて

## TASC ぎふの想い

「アートで、まじわる。」をキーワードに、社会とのまじわる場をつくり、育て、障がいのある人の表現と社会参加の可能性を広げることを目指して活動しています。

障がいのある人が、何らかの役割や一つの特性に限定されるのではなく、“支える”と“支えられる”の立場が自然に入れ替わることができる、ゆらぎのある関係性や開かれた社会について、皆さんと一緒に考えていければ幸いです。

## 令和4年度のテーマ

**サポート** 主体的な動きをサポートする

**アクセシビリティ** アクセシビリティの視点をもつ

**調査・発掘** 県内調査・発掘



YouTube  
TASC ぎふ  
紹介動画

サポート アクセシビリティ 調査・発掘

## 相談

令和4年度  
相談件数  
**59件**

障がい者の芸術文化活動に関する相談窓口（直接来所、電話、メール、FAX）を設置し、ご本人や、ご家族、支援者からの各種相談に対応しています。  
また、専門アドバイザー（※P30参照）との協力体制を整えるとともに、全国にある支援センターとも連携し、様々な課題の解決に取り組んでいます。

### 相談依頼者

福祉関係者	12件
当事者	7件
教育機関	5件
文化団体	4件
家族	3件
自治体	2件
医療機関	1件
市民団体	1件
その他	24件

### 相談内容

権利保護（二次利用、商品化等）	19件
発表（発表したい、展覧会の開催等）	7件
交流・連携（ネットワークづくり等）	6件
情報発信（取材、広報、見学等）	4件
調査研究・保存（作品保護等）	3件
創作（創作環境、支援方法等）	2件
人材育成（研修会、講師について等）	2件
その他	16件

サポート アクセシビリティ 調査・発掘

## オープンアトリエ



ぎふ清流文化プラザを会場に、障がいのあるなしに関わらず、創作活動を楽しみたい人が集い、月に2回程度開催しています。  
新型コロナウイルスの感染状況の変化に合わせ、定員の緩和なども行い、オンラインも併用しながら実施しました。  
3ヶ月に1回、段ボールや木材、発光塗料などの素材で創作できる機会も用意。

2022年4月17日（日）～2023年3月4日（土） 17回  
会場参加 108名  
オンライン参加 13名

### オープンアトリエ講師



豊富春菜  
美術作家



鷺見綱一  
画家



南谷富貴  
美術作家



桂川成美  
版画家



2022  
5/21

## はじめましてから創る写真集

会場：古今伝授の里フィールドミュージアム（郡上市）  
参加：7名  
講師：堀 義人（NATURE DESIGN GoodjobLab）

「写真を撮っている方たちと交流したい」との相談から写真撮影をとした交流イベントを実施。撮影した写真でPHOTOBOOKを制作。

2022  
6/12

## 身体アート表現ワークショップ

会場：ぎふ清流文化プラザ 2F 庭園  
参加：20名  
講師：やまだしげき、タキセマイ（一般社団法人 世界劇場）

バリアフリー身体表現を基礎に活動する、岐阜県内在住のダンサー集団「一般社団法人 世界劇場」を講師に、誰でも参加できる「あいうえお体操」を体験。

2022  
12/11

## トントコのりのリズム パーカッション♪

会場：ぎふ清流文化プラザ 練習室 3  
参加：16名  
講師：松尾志穂子

ジャンベやボンゴを使った音楽ワークショップを開催。障がいの有無に関わらず子供から大人までが、ドラムの「音」を通して交流しました。

2023  
2/14

## 鳴らして遊ぼう！ 竹竹バンブー楽器ワークショップ

会場：瑞穂市社会福祉協議会豊住園（瑞穂市）  
参加：20名  
講師：いままこと（竹竹バンブー）

日常を過ごす場所で、音を楽しめるように、県内外で活動する音楽家を講師に招いて、竹で作った打楽器を思い思いに打ち鳴らし、音を重ねたり合わせたりしました。

サポート

アクセシビリティ

## 人材育成・研修



2022  
5/29

### 基礎研修① 「“しあわせ”って、なんだろう ～他者の表現から問い直す～」

会場：ぎふ清流文化プラザ 1F 文化芸術県民ギャラリー  
参加：22名

講師：水野友有（中部学院大学准教授）

福祉とアートをキーワードに、障がい者の表現活動が、本人やその周りの人にとって、どんな意味や意義があるのか？ 作品を用いた鑑賞ワークショップに参加しながら、みんなで考えを深めました。



2022  
7/31

### 表現研修① ワークショップの設計図

会場：ぎふ清流文化プラザ 1F セミナー室

参加：12名

講師：ワークショップユニット・コココ

ワークショップは、目的や環境、流れを設計することから始まり、それらは運営時に適切な判断を下すためのポイントともなります。コココのワークショップ事例を元に、参加者の行動をどう判断するかを学びました。



2022  
8/8

### 表現研修② 「ワークショップを開催しよう」

会場：笑顔学園・ステップペア（岐阜市）

参加：10名

講師：水谷聡美（さとみ絵画造形教室主宰）

継続的に造形活動をしていただくために、福祉施設へ芸術家を派遣し、施設スタッフにワークショップのやり方やポイントと実例を示して伝え、自主的な造形活動の継続につなげました。



学生対象 一般対象

2022  
10/13

2022  
11/21

### 基礎研修② 「なんでそんなんオンライン講座」

会場：Zoom

参加：[学生対象] 30名 [一般対象] 41名

講師：株式会社ぬか

中部学院大学の学生対象と一般対象と2回に渡って開催。参加者からは、別の角度から物事を捉えることへの関心が生まれた。講座そのものの面白さや、自分の周りの「なんでそんなん」を見つける、視点の変化が生まれたとの声が聞かれ、ぬかつくところが主催する「なんでそんなん大賞」には、岐阜県からのエントリーも多数あり、それぞれの実践につながる機会となりました。



サポート

アクセシビリティ

## 人材育成・研修



2022  
8/10

2022  
9/10

### 鑑賞支援コーディネーター育成講座

会場：ぎふ清流文化プラザ 2F 長良川ホール

**基礎研修** 参加：22名

講師：岐阜ろう劇団いぶき主宰 河合依子  
(岐阜県聴覚障害者支援センター)

棚橋公郎、松本健太郎  
(社会福祉法人 岐阜アソシア)

国際障害者交流センター 鈴木京子  
(ビッグ・アイ)

**実践研修** 参加：20名

講師：国際障害者交流センター 鈴木京子  
(ビッグ・アイ)

視覚・聴覚障がい者への情報アクセシビリティ付き公演「バリアフリー演劇 Touch ～孤独から愛へ～」の関連企画として、サポーター研修を開催。

受講者の中には、視覚・聴覚障がい当事者の参加もあり、同行支援や当日のコミュニケーション方法などを学びながら、当日の対応に生かすことができました。



2022  
9/10

バリアフリー演劇

### 「Touch ～孤独から愛へ～」

会場：ぎふ清流文化プラザ 2F 長良川ホール

来場：163名

音声ガイド及び日本語字幕、舞台手話通訳付きのバリアフリー演劇公演を行いました。これまで一緒に舞台鑑賞をすることがなかった方々が、同じ舞台を鑑賞する機会が生まれました。また、県内の聴覚・視覚障がい者情報センターとも連携し、広報や当日の近隣バス停から会場までの同行支援のボランティア派遣を手配しました。



サポート

アクセシビリティ

## 人材育成・研修



### 舞台手話通訳者養成講座

会場：岐阜ろう劇団いぶき 稽古場（1月28日・29日）  
ぎふ清流文化プラザ 第3練習室（2月4日・5日）

参加：6名

講師：岐阜ろう劇団いぶき主宰 河合依子  
劇団芝居屋かいとうらんま 後藤卓也  
TA-net 廣川麻子代表、河合祐三子

協力：岐阜県聴覚障害者支援センター  
長良高等学校 演劇部



聴覚障がい者に対する情報アクセシビリティのひとつである「舞台手話通訳」。県内で活躍する手話通訳者（士）や手話を学ぶ方々を対象に開催しました。戯曲「あゆみ（短編）」を題材に、長良高等学校演劇部の演者と研修生によって、聴覚障がいがあってもなくても一緒に鑑賞できるバリアフリー演劇が出来上がりました。





サポート

アクセシビリティ

## 人材育成・研修



### 権利研修 「表現をまもってひろめる 著作権について」

会場：高山市若者等活動事務所 村半（高山市）  
参加：13名  
講師：後安美紀（たんぼぼの家）

今回の研修は、問い合わせや相談が増加傾向にある著作権に関する研修を飛騨地域でも開催してほしいとの声を受けて実施しました。知的財産学習カードゲーム「知財でポン!」を用いて、楽しく分かりやすい研修となりました。



### 基礎研修③ 「実践例を見学しよう」

会場：NPO 法人希望の園（三重県松阪市）  
参加：9名

参加者全員で希望の園の説明、成り立ちなどについての話を聞きました。メンバー個人の意志を尊重したうえでの様々なプログラムの準備があり、当日も各々が思い思いの時間を過ごしていました。音楽活動や絵画のアトリエも見学し、参加者それぞれの質問をする機会もつくりました。



### 鑑賞アクセシビリティ研修 「視覚障がい者と鑑賞するために」

会場：ぎふ清流文化プラザ  
ナビゲーター：寺島真希、安田香実（tomoni アートサポーター）  
協力：桑原良枝、河合千尋、岡崎悦郎（tomoni アートサポーター）

視覚障がい者が参加する対話型鑑賞会を行うにあたり、事前に視覚障がい者から、意見や注意すべき点等についての聞き取りを行い、ナビゲーターを担うサポーターらが言葉遣いや説明の仕方などを検討し、「いろんなみんなの展覧会」にて2回、実践を行いました。

tomoni アートサポータープレゼンツ企画展 vol.3

## もぐもぐキッチン

～大好きな食べ物～

サポート

アクセシビリティ

調査・発掘



## tomoni アートサポーター

県内外の方が登録されており、TASC ぎふの各事業に参加しながら、「アートの力を活用して、社会とまじわる場をつくり、障がいのある人の表現と社会参加の可能性を広げる」ことを、ともに目指しています。

登録者数 **77** 名 (2023年3月現在)

会 期：公募展 2022年9月10日(土)～10月10日(月・祝)  
 ピックアップ展 2022年10月23日(日)～11月7日(月)

会 場：ぎふ清流文化プラザ  
 1F 文化芸術県民ギャラリー・エントランス

参加サポーター：23名

ピックアップ展 選者：10名

青島七海 浅野友梨 足利 萌 金丸 寛  
 後藤理恵 小沼雅典 権藤美香 坂本智琴  
 清水のどか 祖父江誠人 高垣良平 寺島真希  
 土井さおり 永井裕子 松原一博 水谷聡美  
 宮脇朱梨 安田香実 安田睦実 柳原史佳  
 山根麻子 脇谷真理子 渡邊成美

## オンライン鑑賞

開 催：2022年9月15日(木)、10月5日(水)、10月28日(金)  
 参加者：福祉施設2か所、個人1名  
 ナビゲーター：脇谷真理子 他

## tomoni アートサポーターによる企画

2022年1月からサポーターミーティングを重ねながら、昨年同様、持ち寄り型の展覧会に決定。「大好きな食べ物」やより具体的な「リンゴ」をテーマに、各自が各地でできることで参加を募集。展示作業等も行った。



YouTube  
 サポーター  
 ピックアップ展  
 作品紹介動画

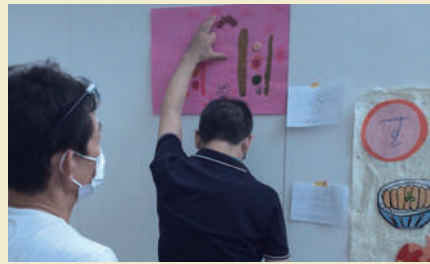


## 新たなチャレンジ！

(これまでの企画展から、さらにパワーアップした点)

- ① 制作風景の写真やコメントで、制作者やその作品に対する思いを伝える。
- ② 公募した作品の中から、サポーター10名が21点をピックアップして再展示。サポーターの視点やおすすめポイントを提示し、作品の新たな魅力を伝えた。
- ③ オンラインでの鑑賞会を実施。ナビゲーターはサポーターが務めた。
- ④ ピックアップ選者のコメントは、QRコードから映像でも見られるよう情報保障にも考慮した。





YouTube  
もぐもぐキッチン  
展覧会動画



## — チャレンジから生まれたつながり

ピックアップ選者の大学生サポーターの紹介動画を見た制作者からの「お礼を伝えたい」という連絡をきっかけに、同年代の二人が、友人として出掛けるまでの関係性を築いていきました。サポーターと障がい者という関係性を超えて、つながりが生まれたことは「アートで、まじわる。」を掲げるTASCぎふとしても、嬉しい出来事でした。



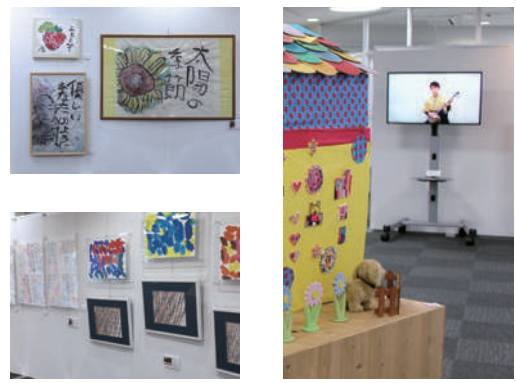




## チャレンジ企画展① 新生クリパラボ 創造力の集結

会期：2022年4月29日(金・祝)～5月27日(金)  
主催：生活介護事業所 クリパラボ

多治見市の生活介護事業所クリパラボに所属する研究員10名が、目標やテーマを自らが決め、創作活動などに取り組んだ成果を発表しました。この展覧会を契機に、岐阜県美術館との連携や企画展等への出展につながりました。



## サポート 調査・発掘 **チャレンジ企画**

ぎふ清流文化プラザ1F文化芸術県民ギャラリーを使って、発表したい企画を募集。県内の福祉施設や個人で活動している方、10組から応募があり、その中から2組の企画が実現しました。

## チャレンジ企画展② ハロー！ 森田尚吾

会期：2022年6月4日(土)～6月26日(日)  
主催：池田町障害者福祉サービス事業所 ふれ愛の家

ふれ愛の家(池田町)に所属する森田さんの個展。森田さんの絵画や文字の作品に加え、朝食の記録や独特なファッション等、日常生活の中での行為や人柄までを含め、森田さんの全貌を伝える展示となりました。  
企画協力：いまをまこと



岐阜県美術館 館長、  
滋賀県立美術館 館長の  
来場もありました。



# 岐阜県障がい者芸術教室 × tomoni ワークショップ NEST ブラインド・クリエイション

講師にワークショップユニット・ココロを迎え、  
視覚障がい者や子どもなど、誰もが参加できるワークショップの内容として企画・実施

サポート

アクセシビリティ

調査・発掘



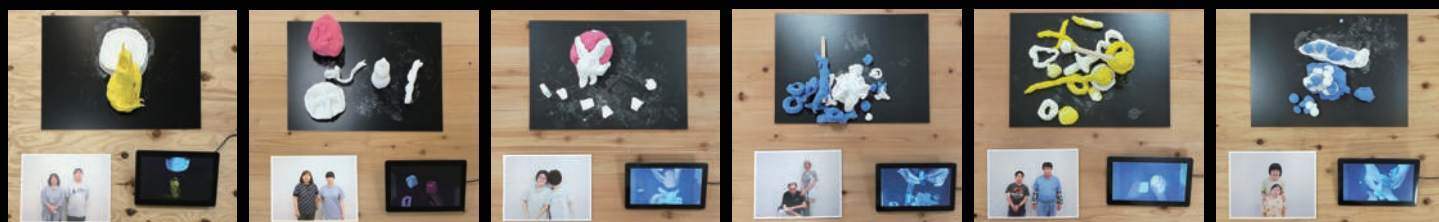
(一財) 岐阜県身体障害者福祉協会と TASC ぎふの連携事業として、上記の芸術教室「tomoni ワークショップ NEST」として開催。参加者同士がペアになって、箱の中の粘土を使って、目で見えない中を手探りで造形しました。箱の中は、それぞれビデオで記録し、参加者同士で鑑賞しました。

## ワークショップ

会期：2022年7月31日(日)  
会場：ぎふ清流文化プラザ  
1F セミナー室

## 作品展

会期：2022年8月11日(木・祝)～8月28日(日)  
会場：ぎふ清流文化プラザ  
1F 文化芸術県民ギャラリー







「根を、おろす。」と題した今回の展覧会では、制作者とその周囲の人々との関係性や地域に根差した活動に焦点をあてた展覧会となり、アクセシビリティに対しても、様々な取り組みを実施しました。



全国障害者芸術・文化祭サテライト開催事業  
tomoni アートのフェスティバル 2022

# いろいろなみんなの展覧会 根を、おろす。

会期：2022年11月3日(木・祝)～7日(月)  
会場：ぎふ清流文化プラザ 2F 長良川ホールなど

サポート    アクセシビリティ    調査・発掘



【みる】  
企画展「根と土と」、地域に根差して ～東海北陸ブロックの事例～、Relation : Art Brut ～写真家 大西暢夫がとらえたアール・ブリュット～

【いろんな展示】  
全国障害者芸術・文化祭「美ら島おきなわ文化祭 2022」関連企画、「根を、おろす。」公募作品展、  
ゴロンアート写真展、アトラゴびふ連携企画 写真実技講座 BUNTSU2 作品展示、  
tomoni アートサポータープレゼンツ企画展 vol.3 「もぐもぐキッチン ～大好きな食べ物～」ピックアップ展



YouTube  
 いろんなみんなの展覧会  
 根を、おろす。  
 会場風景動画



YouTube  
 いっしょに鑑賞してみた  
 レポート動画



【きく】  
 まじわるラジオ

【さんかする】  
 謎解きチャレンジ「地中の帝国 篇」、  
 画材バンク、いろんな鑑賞会、黙々広場、  
 アートマルシェ 1階エントランス・2階庭園

【にちにち縁にち】  
 ザ・フラッシュパーティー♪、  
 アートマルシェ、ストリートピアノ、  
 ワークショップ1・はがきサイズの絵を描こう!、  
 ワークショップ2・木に描こう!

記録集  
 いろんなみんなの展覧会  
 根を、おろす。  
 WEBブック







YouTube  
美術作品展  
展覧会動画



サポート

アクセシビリティ

調査・発掘

## 岐阜県特別支援学校総合文化祭

特別支援学校の幼児・児童・生徒の作品が日頃の学習や文化系部活動の成果を発表する場として、美術作品展と音楽発表会を開催。

### 第28回 美術作品展

会期：2022年11月15日(火)～27日(日)

会場：ぎふ清流文化プラザ

1F 文化芸術県民ギャラリー

出展校：県内特別支援学校 23校

### 第27回 音楽発表会

会期：2022年11月22日(火)

会場：ぎふ清流文化プラザ

長良川ホール

出演校：関特別支援学校

岐阜聾学校

各務原特別支援学校

郡上特別支援学校

大垣特別支援学校

同時開催

### もくもく作品展

会場：ぎふ木遊館ギャラリー(岐阜市)

ぎふ木遊館と連携し、岐阜県内の特別支援学校の幼児・児童・生徒による木を主材料にした製品や作品を展示。





# 夢がなう ～始まりのページ～

発表

夢がなう～始まりのページ～

会期：2023年1月14日(土)～2月26日(日)

会場：ぎふ清流文化プラザ

1F 文化芸術県民ギャラリー

サポート

アクセシビリティ

調査・発掘



「TASC ぎふコラボ展」は、多様な方々がチームをつくり、内容、制作、展示までを行うコラボレーション企画で、TASC ぎふのメイン事業の一つです。8 回目を迎える今回は、TASC ぎふのオープンアトリエの参加者であった naomi さんと丹賀澤さんの“コラボしたい”という夢を叶えるため、絵本作りを長年行っている金田典子先生と映像作家 TERAMAKI さんを迎え、2022 年 5 月から8ヶ月間という長期に渡り絵本作りに取り組んだ内容を紹介しました。

絵本作りは、二人の経験や感じてきたことから、『願いは叶う』、『想いは伝わる』をキーワードとして展開し、主人公である王子や森の仲間たちと同じように、少しでも笑顔になってほしいという願いが込められました。

また、オンライン鑑賞のナビゲーターやよみきかせに福祉施設へ出向くなど、障がい者の社会参加として広がりを見せています。

### オンライン鑑賞会

2022年1月24日(火) 3組参加

### よみきかせワークショップ

2022年2月13日(月) マヴィープラス (各務原市)



会場に描かれた木に、来場者がそれぞれの夢を書いて貼っていきました。





デザインの専門学校を卒業後、TASC ぎふのオープンアトリエに参加。ペンを用いて、動物や植物を織り交ぜた作品を制作。その後、「tomoni アートのフェスティバル 花さき、誇れ!」等に出展。また、OKB 大垣共立銀行の現金封筒や消毒液のパッケージに作品が採用された。

## 全ての元となる絵と文章の提示 物語の文章や展示物の制作

### 丹賀澤 賢

今回、僕にとって初めてのコラボ企画に参加できた事に感謝し、色々な人達の協力でできた事を嬉しく思います。

私の原画から、色々な願いや思いなどが巡り、一つの絵本が完成しました。この絵本を多くの人が見てくれて、少しでも皆さんの心が穏やかな気持ちになってくれる事を願っています。

また今回の文を書いている中で、僕の原画「猫の王子の旅」には、別の可能性という運命がある事に気づく事ができました。本当にありがとうございました。



介護福祉士として17年勤務後、現在は、一般社団法人障がい者アート協会「アートの輪」、パラリンアート登録アーティストとして活動している。パステルを用いた作品は、個展やグループ展等で発表。現在、絵本作家を目指している。

## 全てのイラストを担当。 ストーリーや展示物のアイデアも naomi

私はいつも TASC ぎふのオープンアトリエで絵を描いています。

今回の「TASC ぎふコラボ展」のお話が合った時、迷わず「やってみよう!」と思いました。すると、とても素晴らしいメンバーとの出会いがあり、22年の春頃からたくさん話し合いをし、皆さんと一緒に、私の夢であった絵本を作ることができました。その活動の中で、私のココロの中にあつた経験という宝物がいっぱい出てきました。どうぞ、ごゆっくり絵本の世界を感じてみてください。

## 主に絵本監修と制作のサポートチームの 目指す方向性を導く

### 金田典子

今回、野田さん、丹賀澤さんの「絵本を作りたい」という夢の実現に向けて、少しでもお役に立てたのなら嬉しいです。

お二人の会話から誕生した「ネコの王子」が不思議な虹の木を見つける事から物語は始まります。

アートを通じて、人と人をつないでくれる「TASC ぎふ」が私たちの不思議な虹の木なのでしょう。

この絵本が新しい夢の扉を開く「始まりの1ページ」であると願っています。



大垣女子短期大学や岐阜県立大垣東高等学校で、絵本制作指導の傍ら、長年に渡り海外絵本支援活動を行う。東日本震災より「東日本絵本支援プロジェクト」を企画し、ボランティアメンバーと毎年福島を訪問し絵本支援活動を行なう。

## 全行程の制作記録撮影を元に、 映像作品制作

### TERAMAKI

丹賀澤さんと naomi さんは作りたいものがそれぞれ明確で、自分の主張をしっかりとされつつも、相手を思いやる気持ちが溢れていました。迷いそうなところは金田先生の的確なアドバイスがあり、いつも新しいことを学ばせていただきました。

「これが出来たら夢が叶っちゃうよ」そう言いながら笑顔で制作する姿を見て、改めてものづくりの素晴らしさを実感しました。

二人の夢が叶う瞬間をぜひ見ていただけたらと思います。



イベントの映像演出、アーティスト撮影や映画、映像、アニメーション制作を行っている。主な作品「ボールペンから生まれるノスタルジー」、「dancado ～踊り続ける～」など。2022年に林リウイチ氏との二人展「心音」を開催。

YouTube  
「夢が叶うまで  
～8ヶ月間の記録」  
制作過程動画





# 「TASC ぎふコラボ展 vol.8 夢かなう～始まりの1ページ～」 ふりかえりの会

2023年2月27日(月) 14:00～

参加者：naomi、丹賀澤賢、金田典子、TERAMAKI



YouTube  
絵本「虹色の木の下で」  
朗読動画



## 企画のはじまり

**TASC** どんなことを思いながら、このプロジェクトを行いましたか？  
**金田** 絵本制作の監修の依頼を受けて、まずは「二人にしかできない世界観を目指そう」ということでスタートしました。お二人には、今後も生きづらいことや様々な出会いがある中で、「はじめの1ページ」がこの企画となり、次につながっていけばいいなと思っていました。  
また、展示もあることから、その過程でできたものを取っておくことをお願いしました。

## 出会い、そして難しさ

**TASC** それぞれの方の歩んできた人生やそこで感じたことからこのプロジェクトが始まりましたが、それぞれ難しかったことなどありましたか？  
**金田** 丹賀澤さんの猫の絵に惹かれて、それを元に始めましたが、お二人の画風が全く違うので、どうしたらよいか、また、どのような言葉を掛けるかなど、戸惑いや迷いがありました。  
**naomi** 私も二人の世界観の違いが、一緒になるかという思いもありました。それから、この先、どうなっていくか見通しが見えなくて不安がありました。  
**丹賀澤** スケジュール的に、自分としてはスローペースだったので、スケジュール管理とかをしておけばよかったと思いました。そして、自分の世界観について、もっと言えば良かった。模型を作る段階で、場面設定が違い、整合性が合わなかったこともあって、模型を作り直しました。  
**TASC** naomiさんは特に、はじめの頃、熱い思いがあふれ出して、話が止まりませんでしたね。  
**naomi** これまで自分の心の底に溜まっていたことを聞いてもらえて、自分の心に向き合えることができました。他の人と作る上では、自分の気持ちをまとめて伝えられなかったけど、難しかったです。  
**丹賀澤** naomiさんの絵やタッチを見て、何を伝えたいかダイレクトに伝わってきたので、それを僕は汲み取れました。逆に、文章を短くするのが難しかったです。

## 長い道のりを超えて

**TASC** 8か月間という長い期間を掛けて、漸く絵本という形になりました。全体を俯瞰して見ていたTERAMAKIさんは、どう感じましたか？  
**TERAMAKI** 私は「TASC ぎふコラボ展」に記録映像の撮影で何度も参加させていただいてきましたが、これまでとは違う部分は、参加者それぞれの思いを言葉で伝え合うことができたこと。またこのような長期の取り組みは初めてでした。編集はとても大変でした。でも、金田先生の適切なアドバイスを受けて、「夢がかなうよね!」というお二人の想いが形になる現場に、メンバーの一人として立ち会えたことがすごく嬉しかったです。何より、

映像で見ると最初と最後の姿が違ってみえました。思い描いたことが実現できたことは、アートの力ですね。

**金田** 子どもから大人までをターゲットとして、naomiさんの柔らかいタッチの絵が生かされた絵本『虹色の木の下で』ができたと思います。その夢をサポートすることができて、私も嬉しかったです。  
**naomi** 今回のテーマは、「願いが叶う」「思いは伝わる」だったけど、以前福祉関連事業で勤めていたこともあり、福祉施設の皆様に絵本を届けるのが夢でした。今回、よみきかせでお伺いすることができ、私の夢も叶った瞬間でした。  
**丹賀澤** 僕は虹の木のイラストを展示壁面に貼れて嬉しかった。病院で、亡くなった方を虹色の葉で表すことをしているのを見て、同じように描きたかったから。僕の夢も叶いました。  
**naomi** 私も大好きな嵐のメンバーが訪問した奈良県の福祉施設を訪問した際に、自分も絵本づくりをして、それを岐阜県内の福祉施設でよみきかせをして、ということが、嵐のメンバーと同じような社会貢献活動をしていると気づき、嵐の活動の続編のような気持ちになりました。  
そして、色々な仲間や知人とのつながりや支えを再確認でき、改めて「私はここにいるんだ」ということを知ってもらうことができました。  
**TASC** 誰かに支えられたり、誰かを支えたり、このプロジェクトの中で、揺らぎのある関係性を見出すことができました。よみきかせなどのように、チーム以外にも自然と広がっていったのはとても良かったです。  
**金田** 絵本ができるまでには、いろんな人の手を経て形になった。展示会は、作り手としては発表の場。そして、絵本は誰かの手に渡って、そこから絵本が活躍してくれます。

## 今後の展開や思いなど

**金田** 福島との交流として、よみきかせのボランティアをしています。それにも今回の絵本を使って、寄贈できればいいですね。  
**TERAMAKI** 映像作品の作り手として、自身の作品にも生かしていきたいです。  
**丹賀澤** この続きや新たな展開のストーリーや絵を描いてみたいです。何より、誰かと作品を作りたいという気持ちになっています。今、夢と希望を乗せて、世界に羽ばたく鳥をイメージして描き始めました。  
**金田** 連作なども面白いかもしれませんね。  
**naomi** 交換日記のように。  
**金田** 絵本を手取る時間はせいぜい10分ですが、その世界は無限に広がります。絵本のバトンを受け取った方が、「自分のやってみよう」というきっかけや励みになって、生きる目的になれば嬉しいです。まだ埋もれている方をアーティストとして認めることやこのような取り組みをもっと伝えて、絵本の中の虹の木にみんなが集まったように、TASC ぎふもそんな存在として活動を続けてほしいです。

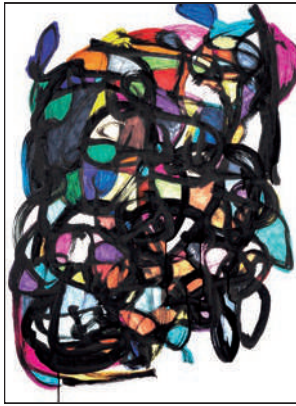
# 私のってん！

岐阜県にゆかりのある多彩な表現者たちの作品を、ぎふ清流文化プラザ 1F のスペースでご紹介しています。

サポート

アクセシビリティ

調査・発掘



「無題」 No.069



## SENRI

大きな紙に描くことを希望され、念願のサイズでの創作。墨を筆やスポンジなどで一気に描き、その後、空白をカラーペンで埋めていきます。

一見、先に色を付けてから、黒色をのせているように見えますが、線の勢いやスピード感とは違い、彩色は 1ヶ月程度時間を掛け、繊細に行われます。大胆さと繊細さが一つの画面に同居している作品とも言えます。また画面の上下も、時に重力とは逆に判断されることもあり、その意図を作品から感じ取りたいと思います。



「しあわせなうさぎ」 No.070

## Kiyora

小学校の頃より、造形教室に通いながら油絵を描き始めました。好きなウサギをモチーフにした作品が多く、花などは実際に見ながら描くこともあります。最近は細かい表現もできるようになってきたそうです。また納得のいくまで重ね塗りをし、長い時間を掛けて完成に至るといいます。その手法が、「じっくり、おっとり派」だという自身の性格とも合致しているかもしれません。Kiyoraさんならではの描くという行為の時間を感じてみては？



「葛藤」 No.071

## 緑川貴恵

MIDORIKAWA Kie

「葛藤」というタイトルに惹かれ、作者にお話を伺いました。

タイムスリップしたバスが登場する「クレヨンしんちゃん」の映画からヒントを得たとのこと。そして、描かれている昭和のバスが、未来に戻るか、その行き先を迷っていることを表現しているといっています。確かに、タイヤの向きに違和感があるように感じられ、作者の意図が伝わってきます。

過去から現代の社会問題に至る内容をテーマに取り組み、実際に取材したり、写真等の資料を参考に、緑川さんの世界観を絵画として再構築しています。



「迎春」 No.072



## 杉野友哉

SUGINO Yuya

父親が仕事を開放して絵画教室の場を提供。そこで油絵を習得している杉野さん。以前の作風は、色鉛筆で通っている施設での農作業を元に描いた作品でした。種を規則的に植えている様子など、その切り取り方が面白く感じられました。久しぶりに作品を拝見し、画材の変化はありましたが、特に陰影の形や色の取り合わせは、以前と変わらず面白く感じられます。技術の習得を超え、またどのように変化していくか楽しみにしたいと思います。



「オシャレが大好きなオウム」 No.073

## 水上真歩

MIZUKAMI Maho

一見、デジタル作品かと思いがうような繊細な線や精緻な色面で構成された作品ですが、すべて手描きです。

「違う!」と思ったら、躊躇なく新たな紙にかえて描くそうで、この線でなければならないという作家のこだわりが、絵の明快さにつながっていると思いますが、いかがでしょうか？

また、そのこだわりも作品自体への執着ではなく、作品をつくる上で大事な要素となっており、今後どんな風に表現が広がったり、変化したりするのか注目したい作家です。



「桜傘」 No.074

## せんち

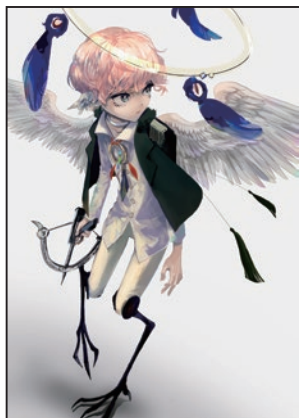
SENCHI

描かれた作品は、華やかです。パソコンを駆使した色彩は美しく、全体のまとまりもよい。自分が感じたことからイメージされた人物が作り出す世界観やテーマに沿ってシリーズ化されているものもあり、その内面世界が面白い。

美しさとその裏腹にある残酷さやもの悲しさも垣間見えますが、細部までよく見ると、ちょっとしたユーモラスも含まれているように感じられます。

作風や描き方が変化しているそうです。





「無題」 No.075



**村木加奈依**  
MURAKI Kanae

リクエストに合わせたテーマで描くこともあれば、自分のオリジナルのキャラクターなどを描いた作品も制作しています。そのどちらも可愛いイラストという共通点もありますが、オリジナル作品には、可愛らしさだけではなく、「闇」の部分も含まれているように見え、ドキリとさせられます。その闇をまとった作品は、「絶望」ではなく、「救い」も含んで見えます。あなたは、どちらの作品が心に響くだろうか？



「昔アイドルコンサート 愛ノ歌」 No.076



**佐藤守道**  
SATO Morimichi

どことなく、昭和の匂いのする作風があるかと思えば、モダンな感覚を覚える作品もあり、すぐにはその全貌を知ることができないのではと、驚異にも似た感情を起こさせます。ただ共通しているのは、描いたたくさんの絵を切り抜いたり、切り刻んだりしたものを再構成するという、コラージュ技法を使っている点でしょうか。それは時に、画面を超えて額までもコラージュ加工が及び、溢れんばかりの創作意欲が伝わってくるようです。



「鼠の親子」 No.077



**岩下元治**  
IWASHITA Motoharu

新聞紙や包装紙などを下地にして、細かな模様を規則的に配置する特徴が印象に残りますが、主題となる動物の表情が、どこか人間の表情にも思え、独特の愛嬌をもっています。しかし、寂し気な表情にも感じられ、見る人によって、その捉え方に違いがでてくるのではと想像します。油絵も描かれますが、ペンや色鉛筆など、様々な画材を使用した作品も魅力的です。



「しゃか王」 No.078



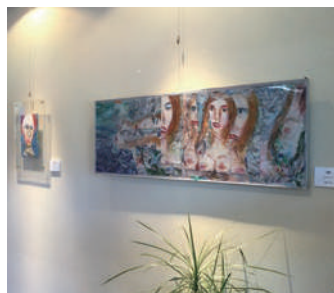
**服部龍二**  
HATTORI Ryuji

身近にある画材を使って作品を制作しており、特別な技法や目を引く大きさがある訳ではないですが、以前出展された作品展で拝見し、何か引っかかるものがありました。こだわりがあるという色彩の組み合わせが心地よく感じられます。また、奇をてらうことなく、素直に引かれた線による形も魅力的です。そして、描く対象も動物や風景とともに、妖怪や歴史的人物の選択も面白い。次は何が選ばれるか、気長に待ちたいと思います。



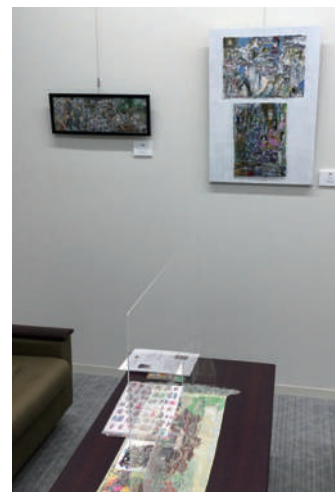
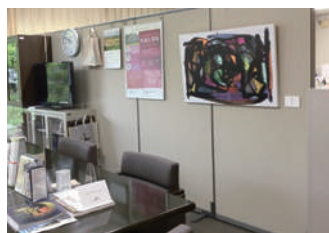
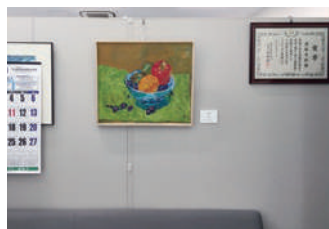
**作家カードを作っています**

作品の利用などにつなげることを目的に、来館者が持ち帰ったり、作家自身の宣伝に利用していただくための作家カード（はがきサイズ）を作成し、設置しています。



**ここでも展示しています**

ぎふ清流文化プラザの tomoni カフェや、岐阜運動者講習センター・運転免許課応接スペース、岐阜県教育文化財団理事室、岐阜県庁内の執務室でも作品を展示しています。



# アウトリーチ

岐阜県は、岐阜、西濃、中濃、東濃、飛騨の五圏域があります。TASC ぎふでは、各圏域において、各地域主体となった継続事業が生まれることを目的として、各地の作家、福祉施設、支援者らとともに様々な事業を展開しています。地域それぞれの環境やつながりと、アイデアの中で多様なプロジェ

クトが生まれています。また、TASC ぎふが所属する東海・北陸ブロックの広域支援センターや各県の支援センターとも連携し、情報交換や研修、発表の機会等を設けています。「全国障害者芸術・文化祭」や「障害者芸術・文化祭サテライト開催事業」といった厚生労働省事業との連携も図っています。



## アウトリーチ 飛騨エリア

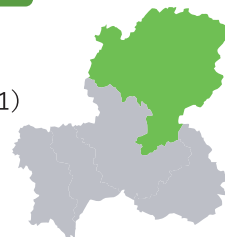


黙々広場のルールは、ただ一つ。「声を出さないこと」声を発せず、手話やジェスチャー、筆談等で「黙々」会話を楽しみます。今回は、会場に作品も展示し、「黙々鑑賞会」も実施。声を出さない対話型の鑑賞会を試行しました。

## 黙々広場 in ひだっこ cafe

サポート アクセシビリティ 調査・発掘

会期：2022年7月23日(土)  
会場：ひだっこ cafe (高山市山田町 288-1)  
主催：黙々広場実行委員会  
共催：高山聴覚障害者協会手話対策部  
TASC ぎふ  
後援：笑美の会、たつの会、手話サークルさるぼぼ  
出展作家：丹羽まゆみ、宮本治樹、MIO





# アウトリーチ 東濃エリア



## いろいろなみんなで楽しむ バリアフリー映画上映会 とオープンアトリエ

サポート

アクセシビリティ

調査・発掘

会期：2022年7月2日(土)

会場：ミュージアム中仙道（瑞浪市明世町戸狩 331-1）

主催：ミュージアム中仙道、TASCぎふ

共催：岐阜県

後援：（一財）岐阜県身体障害者福祉協会

瑞浪市、瑞浪市教育委員会

協力：Palabra 株式会社

バリアフリー映画上映として、UDCast（Palabra 株式会社運営）対応のバリアフリー焼き付け字幕付きの映画「37セカンズ」と「神在月のこども」を上映しました。音声ガイド用のデバイスも準備し、来場者の利用に対応。会場の前方をフリースペースにし、ゴロンと寝転がって鑑賞できるように、後方にはイスを設置。上映前のアナウンスでは、声を出したり、動きまわる方もいることを前提に「いろいろなみんな」で鑑賞する旨を伝えました。映画の幕間には、会場ロビーでオープンアトリエを実施し、子どもを中心に参加いただきました。

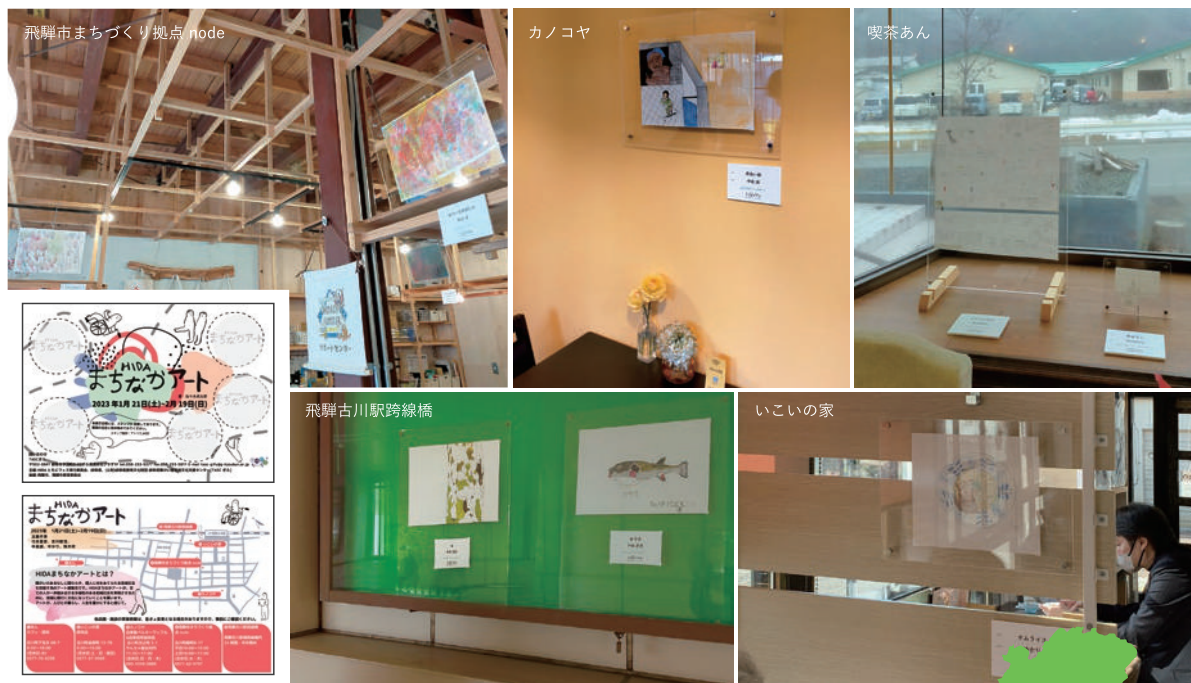


# アウトリーチ 飛驒エリア



連携

アウトリーチ



## 「いろんなみんなの展覧会」巡回展 HIDA まちなかアート

サポート

調査・発掘

会期：2023年1月21日(土)～2月19日(日)

会場：喫茶あん（飛驒市古川町下気多 68-7）

いこいの家（飛驒市古川町金森町 13-78）※1月末までの展示

カノコヤ（飛驒市古川町式之町 3-1）

飛驒市まちづくり拠点 node（飛驒市古川町殿町 8-17）

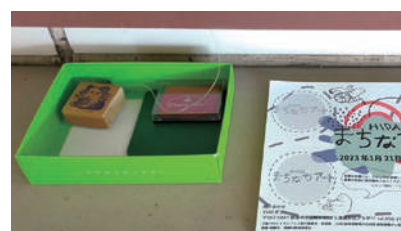
飛驒古川駅跨線橋（飛驒古川駅横跨線橋内）

主催：HIDAともにフェス×実行委員会、岐阜県、TASCぎふ

後援：飛驒市、飛驒市教育委員会

出展作家：竹本夏彦、吉川智浩、中島誠、ゆかり、鈴木梓

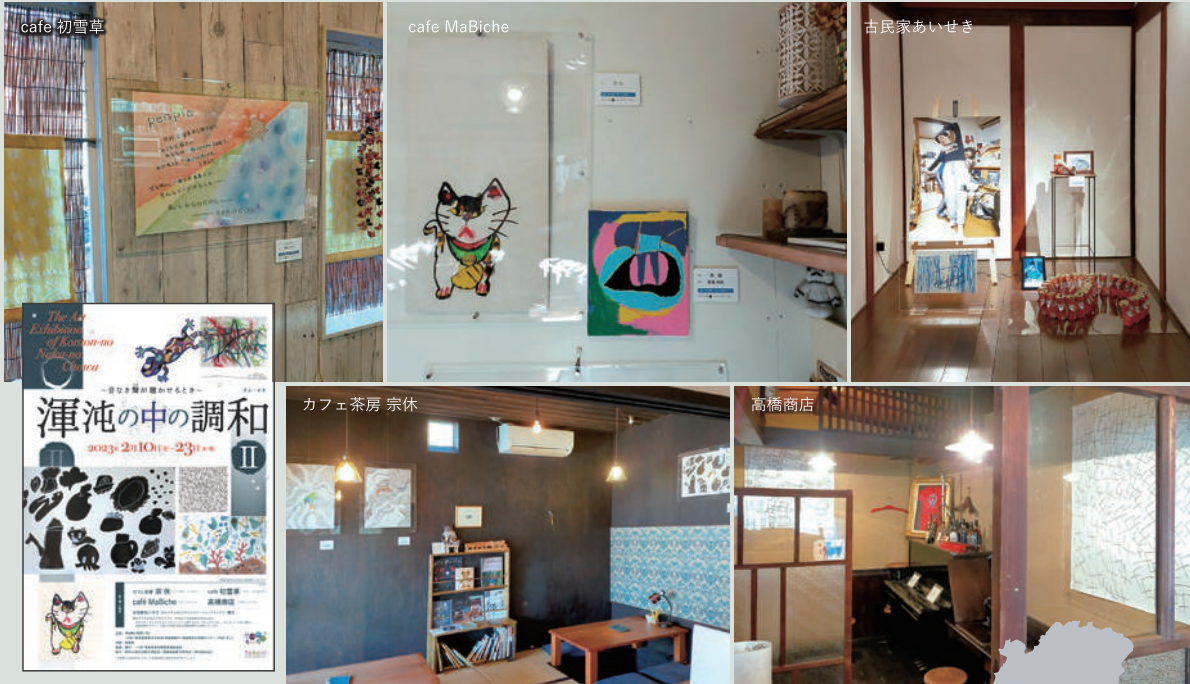
昨年に引き続き、飛驒市古川町内の店舗、施設を会場に街中での作品展を開催。今回は、飛驒地域を中心に活動する HIDA とともにフェス × 実行委員会を中心に、飛驒地域の方の原画作品を展示。各会場には高山市内のアート教室に通う生徒が制作した消しゴムハンコを設置し、スタンプラリーとしても楽しめるようにしました。会期中は出展者やそのご家族、知人も多数来店され、継続した作品展示を求める声も聞かれました。また、飛驒地域の福祉施設の方の作品展示を機に、今後の連携に関する可能性も見えてきました。



各会場には手作りのスタンプを設置。  
リーフレットでスタンプラリーを楽しめる工夫をしました。



# アウトリーチ 中濃エリア



## 渾沌の中の調和 II

サポート

アクセシビリティ

調査・発掘

会期：2023年2月10日(金)～2月23日(木祝)

会場：カフェ茶房 宗休 (関市西日吉町 35)

cafe MaBiche (関市西木戸町 7)

cafe 初雪草 (関市元重町 74 番地 1)

高橋商店 (関市栄町 3 丁目 7-30)

古民家あいせき (関市本町 7 丁目 13)

主催：NuNo SEKI、TASCぎふ

共催：岐阜県

後援：関市、(一財)岐阜県身体障害者福祉協会

協力：OKB 大垣共立銀行 関支店、

関信用金庫 本町支店、

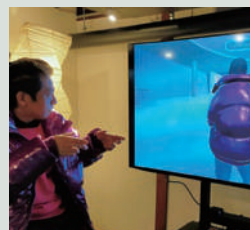
株式会社ぬか

出展作家：飯島弦重 (各務原市福祉の里 あすなろ)

K. 真輝・そら・関谷正和・柳原史佳 (風の芸術村)

都築昭伍 (げんきあっぶ)、大野慧正

展示会場となるお店の店主に、展示したい作品を選んでいただきました。また、作品をお借りする際には、店主にもお声がけて、作者本人にも会っていただくなど、本当の意味で顔が見える展覧会となりました。展覧会終了後も、各店とも作者本人やご家族、知人等が来店し、普段来店される機会のない方との新たな関係性が生まれたことに対する喜びの声が聞かれました。また、古民家あいせきでは、今年度開催の講座での縁を経て、「なんでそんなんプロジェクト・ショーウィンドウ」と題した展示を開催。また、メタバース内に「なんでそんなんエキスポ」を構築し、仮想空間での展覧会等の可能性を探る試みも行いました。



メタバース内に作った展覧会会場。  
古民家あいせきでは 3D ゴーグルを着用しての体験コーナーも設けました。

# いろんなつながり

## OKB 大垣共立銀行

### トモアートプロジェクト

地域企業と協力して、障がいのある作家の作品を活用した製品を商品化して販売するプロジェクト。TASC ぎふでは、作家紹介や作品の適正利用のアドバイスなどを行っています。



## tomoni カフェ

### tomoni つながる market と作品活用

ぎふ清流文化プラザ1Fにある「tomoni カフェ」（社会福祉法人舟伏）と連携し、毎月第3水曜日と木曜日にマーケットを開催。県内福祉事業所で作られた製品やアートを活用した商品をPR・販売。



### 現金封筒 OKB ギャラリー tomomi アート展

TASCぎふと（一財）岐阜県身体障害者協会の「アートバンク」登録作品から、作家10名の作品を選定。

第2期 2021年10月～2022年9月

第3期 2022年10月～2023年9月



tomoni カフェとの連携では、作品を二次利用したステッカーを作成。袋やカップに使用。また、店内にガチャガチャを設置して県内福祉事業所のハンドメイド作品を販売。



## 建築関連

### このまちの展覧会

TASCぎふから作家情報を提供し、各企業が建築現場に大きくプリントした作品を展示。作品の使用料は各作家に還元。県内作家3名の3作品を紹介。



## 他企業

### エコツー

フリーペーパー表紙に作品を採用。  
県内作家3名紹介



### マイタウンとうと

アーカイブデータの提供。  
県内作家1名



日本財団 DIVERCITY IN THE ARTS TODAY 取材協力

<https://www.diversity-in-the-arts.jp/stories/36065>





## 大垣女子短期大学

「いろんなみんなの展覧会 根を、おろす。」巡回展  
作品鑑賞会 開催

会期：2022年11月18日(金)

会場：大垣女子短期大学（大垣市）

大垣女子短期大学との連携により、幼児教育学科3年生を対象に「いろんなみんなの展覧会」で出展した作品の鑑賞や追体験のワークショップを行いました。

協力：立崎博則（大垣女子短期大学幼児教育学科講師）



## 岐阜大学

岐阜大学教育学部公開講座 共催

「障害者芸術支援による共生社会の実現に向けて」

会期：2022年11月26日(土)

会場：岐阜大学（岐阜市）

主催：国立学校法人東海国立大学機構 岐阜大学教育学部

①「すべては幸せを感じるために～やまなみ物語～」

講師：山下完和（やまなみ工房 施設長）

② シンポジウム

「子どもの表現の理解から“つながる”ことをさぐる  
～上土橋勇樹くんの子育てから学んだこと～」

登壇者：猪狩邦子、田代文代、高橋行人、林哲治  
上土橋真由美

③「私的並行世界の創造—アーティストとしての上土橋勇樹」

講師：山田創（滋賀県美術館学芸員）

協力：神野幸雄

（岐阜大学教育学部附属特別支援教育センター准教授）



教育学部学生 展覧会鑑賞

会期：2022年6月10日(金)

会場：ぎふ清流文化プラザ

# いろんなつながり

## 岐阜県美術館

### Artisut in Museum Vol.12

#### 「大平由香理 脈流」協力

- ① クリパラボ × 県美 共同研究会  
2022年7月19日(火)～22日(金) / クリパラボ(多治見市)
- ② TASC ぎふ × 県美 オープンアトリエ・スペシャルDAY  
2022年7月27日(水) / ぎふ清流文化プラザ
- ③ TASC ぎふ × 県美 オープンアトリエ  
2022年9月30日(金) / 岐阜県美術館(岐阜市)

岐阜県美術館との連携として、岐阜県ゆかりのアーティスト・大平由香理さんによる巨大な絵画の制作過程に TASC ぎふが協力しました。大平さんが多様な方の参加を希望され、県内福祉施設を紹介。大平さんが県内福祉事業所やオープンアトリエの講師となり、海や川の生き物などを描き、大きな作品のパーツとなりました。



## ぎふ木遊館

### 「絵馬作りワークショップ」協力

会場：ぎふ木遊館(岐阜市)  
会期：2022年11月23日(木・祝)

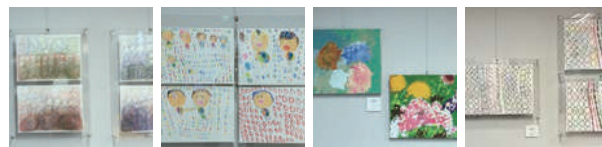
ぎふ木遊館において、ぎふ清流文化プラザに設置されている「清流ゆめ湊灯台」の絵馬を、杉板から手作りする木育プログラムを開催。ぎふ木遊館の講師と一緒に、ノコギリを使って裁断した絵馬に、紙やすりをかけ、木の手触りの変化を感じました。また、出来上がった絵馬の上部に「自分の夢」を文字と絵で描き、清流ゆめ湊灯台に掲出しました。



## 可児市文化創造センター ala

### 「ala × TASC ぎふ みんなのアート展」開催

- 会期：① 溝口健太(優が丘) 作品展示  
2022年4月27日(水)～6月29日(水)
- ② 川浦麻友(優が丘) 作品展示  
2022年6月29日(水)～9月30日(金)
- ③ 原恵子(クリパラボ) 作品展示  
2022年9月30日(金)～12月26日(月)
- ④ 加藤崇之(クリパラボ) 作品展示  
2022年12月26日(月)～3月23日(木)
- 会場：可児市文化創造センター ala(可児市)



### 「ala × TASC ぎふ みんなの対話型鑑賞会」開催

会期：2022年7月17日(日)  
会場：可児市文化創造センター ala(可児市)  
ナビゲーター：寺島真希、安田香実(tomoni アートサポーター)

毎年、(公財)可児市文化芸術振興財団との連携として、中濃・東濃圏域にゆかりのある方の作品を展示。作品を見た方から購入の希望があり、所属施設につなげ、販売に至った事例がありました。また、「エイブル・アート展」(7月16日～24日)内で、作品鑑賞会を実施しました。

## アトラボぎふ

### 「写真実技講座—BUNTSU2—」協力

会期：第1回 / 7月30日(土)、31日(日)  
第2回 / 10月1日(土)  
展示 / 11月3日(木)～7日(月)

岐阜県と(公財)岐阜県教育文化財団が主催する「アトラボぎふ」との連携として、写真家の野村佐紀子さんが講師を務める講座に、TASC ぎふから紹介した方も参加。10のテーマに合わせた写真を文通のように交換し、最後に文通相手とアルバムを作成し、「いろんなみんなの展覧会根を、おろす。」(ぎふ清流文化プラザ)にて展示しました。  
協力：アトラボ実行委員会



## オアシスパーク

「ゴロンアート作品展」+「萌の写真展」協力

会期：2022年6月11日(土)～19日(日)

会場：河川環境楽園 オアシスパーク (各務原市)

「ゴロンアート撮影&展示」開催

会期：撮影会／2022年9月11日(日)

作品展／2022年10月8日(土)～16日(日)

会場：河川環境楽園 オアシスパーク (各務原市)

家族連れや県外からの参加も見込めるオアシスパークと連携。半野外の空間を活かして、寝転びながら撮影できるゴロンアートの撮影会を行いました。ゴロンアートは、高山病弱児を守る会「あかりんぐ」(代表/勝田なお子)が行っている活動で、当日の撮影も「あかりんぐ」が担当しました。  
協力：あかりんぐ



## 岐阜希望が丘特別支援学校

「ゴロンアート撮影会」開催

会期：2022年10月14日(金)

会場：岐阜希望が丘特別支援学校 (岐阜市)

「ゴロンアート作品展」開催

会期：2022年11月3日(木)～7日(月)

会場：ぎふ清流文化プラザ

ぎふ清流文化プラザが所在する福祉エリアにある岐阜希望が丘特別支援学校と連携。中学部2年生6名の宿泊学習の一環として、「ゴロンアート」を体験。「あかりんぐ」のカメラマン・今村龍二さんにより撮影しました。  
協力：岐阜希望が丘特別支援学校



## 発表協力

あいちアール・ブリュット サテライト展

2023年1月31日(火)～2月5日(日)

豊川市桜ヶ丘ミュージアム(豊川市)

愛知県障害者芸術文化活動支援センターから依頼があり、本年度の「私のいってん！」に出展していただいた2人を紹介。合計3点の作品を展示につなげました。

出展作家：佐藤守道、水上真歩



障がい者アート展示会 ありのまま展

2023年2月25日(土)～3月10日(金)

CAFÉ GA 楽 (各務原市)

各務原市障がい者地域支援協議会が主催する毎年恒例の「ありのまま展」において、展示のアドバイスや展示作業の協力を行いました。



## 岐阜県障がい者芸術文化支援センター 協力委員会・アドバイザー

岐阜県障がい者芸術文化支援センターの事業計画や進捗状況を確認して  
事業運営に必要な意見をいただくため、様々な分野において活躍する  
県内の有識者に、協力委員を努めていただいています。

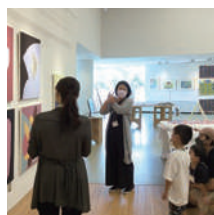
### 委員

吉田健太郎	(一財)岐阜県身体障害者福祉協会 常務理事兼事務局長
浅井長可	(一社)岐阜県知的障害者支援協会 事務局長
中村 剛	(特非)岐阜県精神保健福祉会連合会 顧問
長谷川典彦	(特非)岐阜県難病団体連絡協議会 理事長
青山 孝	岐阜県特別支援学校校長会 会長 (岐阜清流高等特別支援学校 校長)
日比野克彦	岐阜県美術館 館長
石崎泰之	岐阜県現代陶芸美術館 館長
中川正之	(一社)岐阜県経済同友会 筆頭代表幹事
吉田和弘	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 学長
若井敦子	岐阜県議会議員

障がい者の芸術文化活動を専門の見地から支援を行う際に必要に応じて、  
美術や舞台等の専門家から助言等をいただくため、アドバイザーを委託しています。

### TASC ぎふ、アドバイザー

小島紀夫	舞台芸術アドバイザー
古田菜穂子	アート利活用アドバイザー
曾我部弘樹	障がい者 tomoni トータルアドバイザー
松井義孝	リーガルアドバイザー





## あしがき

TASCぎふ(岐阜県障がい者芸術文化支援センター)の立ち上げに当たって、アート活動を中心に先進的な事例を集める中、国内外で開催される展覧会で注目される作家を多く紹介している施設の一つに三重県松阪市に在る生活介護事業所の「希望の園」がありました。本年度、当センター企画でアート活動に関心を寄せるサポーターや福祉事業所関係者等と共に研修に行くことができました。

各作家(利用者)が自由にのびのびと絵画制作や音楽演奏等の表現活動ができる状況と環境を作り出しているのは、施設長をはじめスタッフが作家一人一人に深く寄り添い、気持ちを理解し共感し合う優しいまなざしがあつてのことと感じ、表現活動を通して気持ちの共感と互いを理解することの大切さを学びました。

この研修参加者には、今年4月に新設されるアート活動を取り入れた福祉事業所の方が参加され、詳細を研修先スタッフから熱心に聞いておられたのも、岐阜県内にも創作活動を中心に日常生活を支援する動きが具体的に進み始めていると感じ、少なからず当センターの活動への理解が進んできたのではと捉えるところです。

当センターが立ち上がり6年が過ぎようとしています。創作活動を中心とした日常生活が障がいのある人ない人も本当に幸せなことなのか、強いて言うなら創作活動が相互の共感関係を生み支援する側支援される側が共に癒されていくかを検証しなければならない考えます。

令和6年度に岐阜県で開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024の実践がTASCぎふにとって、まさに検証の場と捉えて進めて参りますので、今後ともご支援・ご協力の程をよろしくお願いいたします。

TASCぎふ業務総括  
土屋明之

### サポート



### アクセシビリティ



### 調査・発掘



### 企画・編集・発行

(公財)岐阜県教育文化財団  
岐阜県障がい者芸術文化支援センター [TASCぎふ]  
〒502-0841 岐阜県岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ1F  
TEL 058-233-5377 FAX 058-233-5811  
MAIL tasc-gifu@g-kyoubun.or.jp  
WEB <https://www.tascgifu.com/>

Instagram

tasc\_gifu

YouTube

TASCぎふ YouTube

検索



発行責任者：土屋明之(岐阜県障がい者芸術文化支援センター業務総括)  
写真：スタジオベガ  
TERAMAKI  
株式会社フジナ  
TASCぎふ

デザイン：boum

題字：森田尚吾(ふれ愛の家所属)

表紙画：「無題」井上千里(ワークサポートみやこ所属)



# TASC-GIFU REPORT

TASCぎふ (岐阜県障がい者芸術文化支援センター)

令和4年度 報告書



岐阜県障がい者芸術文化支援センター  
tomoní アートサポートセンター